

寺村武先生を送るにあたって

札幌大学女子短期大学部部长

原 田 信 男

本学教授寺村武先生は、平成7年3月末日を以て定年を迎えられ、御退職になります。

先生は大正13年8月に香川県でお生まれになりました。その後北海道に渡られ、第二次世界大戦終了後間もない昭和23年4月、北海道大学法文学部法律学科に御入学になり、同26年3月に同大学法経学部法律学科を御卒業なさいました。

その年の8月、北海道立労働科学研究所の研究員となられ、昭和37年4月に機構改革によって同研究所が北海道立総合経済研究所と改称されると、その第二部労働生活課の研究員として、引き続き北海道を中心に労働環境や労働条件・労働者の生活の実態などの攻究・分析に当られ、道の労働施策に数々の示唆を与えられました。その寄与は洵に大なるものがあろうかと存じます。

その間先生は昭和40年には同研究所第二部労働生活課長、さらに昭和51年には第二部の部長に昇進され、研究所の機構や研究条件の整備など、行政の面でもその手腕を発揮されました。

昭和57年4月、先生は札幌大学女子短期大学部に新設された経営学科に学科長・教授として赴任され、創立直後の多難な時期に当って、同学科の運営を軌道に乗せられ、その発展の基礎を築かれたのであります。

さらに昭和61年4月には急逝された石附喜三男教授の後を承けて短大部長に就任され、同63年11月までの間、本学の運営に全力を傾けられました。幸い私は、先生の部長時代に本学に赴任し、教員としての心得や委員会活動について、いろいろと御助言を戴き、非常に多くのことを学ばせていただいたことに深く感謝致しております。

先生が本学に御在職になった13年の間、学内の行政で御多忙な時期においても、先生は学生の指導には殊に意を用いられ、学生の信望を集め、多くの人材を世に送り出されました。

此の度、先生の御退職に際して、我々は先生の本学に対する多大の御尽力に深い感謝の意を表するとともに、今後の先生の御研究の進展と御健康と御多幸とを衷心より祈念するものであります。